


様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和5年度第2回ふじみ野市行政評価外部評価委員会			
開催日時	令和5年7月13日（木） 開会時刻 午前 9時30分 閉会時刻 正午			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎3階 A302会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	木村 浩則	委員	瀧口 詠子
	副委員長	原田 晴男	〃	柳原 広昌
	委員	山本桂太郎	〃	濱田 明彦
	〃	川村 和也		
会議の議題	(1) 評価対象となる12施策への意見交換 (2) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	—			
傍聴人の数	0人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次 第 ・委員の質問に対する回答票 ・委員意見票 ・令和5年度第3回ふじみ野市行政評価外部評価委員会開催通知 			
事務局	総合政策部経営戦略室			
議事の確定	確定年月日	令和5年 7月13日		
	記名押印 又は署名	役職名 委員長 木村 浩則  ※自署の場合は、押印不要です。		

別紙

発言者	発言の要旨
事務局	<p>—開会—</p> <p>皆様、本日はご多忙のところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、令和5年度第2回ふじみ野市行政評価外部評価委員会を開催いたします。会議に入ります前に、本会議は、「ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則」におきまして、公開の対象となっております。本日の会議におきましては、傍聴人がおりませんのでこのまま進行いたします。</p> <p>本日、所用により、大平委員、岡本委員、島村委員が欠席されていただきますのでご報告させていただきます。</p> <p>—資料確認—</p> <p>(次第2委嘱状交付は誤りのため訂正します)</p> <p>ここからの進行につきましては、ふじみ野市行政評価外部評価委員会条例第6条第1項に基づき、木村委員長にお願いしたいと思います。それでは木村委員長、よろしく申し上げます。</p>
委員長	<p>それでは、ふじみ野市行政評価外部評価委員会条例の第5条第2項に基づいて、ここからは私の方で議事を進行させていただきます。</p> <p>「議題1 評価対象となる12施策への意見交換を行います。議事進行にあたり、事務局から流れの説明をお願いします。</p>
事務局	<p>昨年度までは、評価対象施策質問項目について1件ずつ確認を行っていましたが、今年度はすぐに意見交換に入らせていただければと思います。1施策あたり10分間程度で意見交換、意見票の作成をお願いします。事前質問に対する回答票と合わせ、報告書に掲載させていただきます。</p>
委員長 柳原委員	<p>施策1についてご意見等お願いします。</p> <p>施策1だけではなく全施策に係ることですが、活動指標と成果指標の関係性、位置づけについて分かりづらい部分がありました。</p> <p>自治組織加入率はどちらかと言えば、成果指標の方に入らないかと思います。ネット上、他自治体では「施策評価の指標に関する手引」があり、非常に直接分かりやすく書かれていました。関係性、位置づけを意識していただければ、分かりやすく報告書になるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>確かに、自治組織の加入率は結果の方になるのではないかと思います。活動指標、成果指標の区別の再検討をお願いしたいです。</p>
事務局	<p>ふじみ野市でも手引きは内部用として作成はしています。基本的に</p>

原田委員	<p>はプロセスを考えてこの指標を作成していますが、線引きのところがまだ徹底されておりませんので、1件1件確認をしながらこの考え方を定着させていければと思います。もう少し分かりやすく整理させていただきます。ご意見ありがとうございます。</p> <p>高齢化が進んでいる中、どのようにして若い世代を取り入れるかは並大抵のことではないと思います。自治会に入らない方の防災という観点から考えるととても心配になります。防災訓練への参加意識も低くなっているようですし、組織で力を合わせて頑張っていけないと思います。</p>
濱田委員	<p>私の加入している自治会では、川越街道から駅側は加入者がほとんどないです。踏切側はマンション、アパート、企業が多く1770世帯の6件位しか加入していません。地元の企業に対しては、自治会に入るような働きかけをしているのですか。</p>
原田委員	<p>この件につきましては、私が直接かかわっているのでお話しさせていただきますが、事業所の加入も併せて行っています。ある程度ご理解いただいています。</p>
委員長 柳原委員	<p>—意見記入— 施策5についてご意見等お願いします。</p>
事務局	<p>人生100年時代を見据え、学びややりがいが必要と素晴らしい回答をいただきました。学んだ後に活躍できる場、ボランティアから仕事のものまであるかと思いますが、何か幅広く考えられておりますでしょうか。例えばハローワークと連携して機会を増やすとか、また違ったところで貢献できるのかなど。充実した人生になるのかなと思いました。その辺のところいかがでしょうか。</p> <p>施策シートをご覧いただいた際の質問かと思いますが、市民大学で学んで講座として還元する、そこまでが現在考えられているところです。リスキリングしてハローワークにつなげるといった観点からの施策展開はまだできていません。市民大学という組織もまだ定着していないので、その展開もあるのかなとお話をお伺いして思いました。ふるさとハローワークの担当課には伝えます。</p>
委員長	<p>—意見記入— 施策6についてご意見等お願いします。</p> <p>ステラ・ウェストという立派な建物ができますが、どう活用していくか今後のテーマかと思いますが、交通の便が気になっているところです。バスが少ないかと思いますが。</p>
瀧口委員	<p>せっかく素晴らしい文化施設ができるのでそこを通るバスはできてほしいです。</p>
事務局	<p>交通の観点から考えると、便が良くなく、渋滞も多いところです。</p>

原田委員	また駐車場についても十分な台数が確保できていません。大きな催し物があった時に困ります。道路装備、交通体系、ふじみん号など考えていかなければいけない課題です。
事務局	駐車場については、文京学院大学や手前の家電量販店とかうまく提携していけば良いと思います。図書館の跡地はどのように活用する予定がありますか。
事務局	図書館前面部分を駐車場にして、建物自体は資料館的に活用にする予定です。最初のうちは仮設駐車場を準備してその間に考える予定です。 交通施策で交通量の分散できるような形で検討中です。
委員長	—意見記入—
原田委員	施策7についてご意見等お願いします。
委員長	小中学生のスポーツの関心度が薄れてることが気になっています。花の木中では野球部が廃部となり、今、教師も学校クラブ活動をやっている、地域でやってくれという文科省の通達がでていそうです。地域に教えてくれる人がいるのか、行政にデータが何かあるのか、今あるスポーツ人口の中での対応策も必要だが次に出ていく人達からどのように拾いあげて行くのか、また、子供の体力不足にもつながり、とても重要な課題だと思います。
事務局	文科省もやりすぎたようです。あまりにも学校に丸投げで先生に負担がかかっていた。本当は社会教育と学校が2つの柱となってやれたら良いのだが、学校から地域へ、また地域の受け皿がなく、最終的には民間企業へ依頼してしまうことになっているようです。
事務局	非常に難しい状況です。「こどもの未来を育む条例」では、体力向上も謳ってしまっていて、公園でボール遊びができるよう検討されています。
柳原委員	地域スポーツにおける人材育成に対応した指標ということで、たくさん回答いただきましたが、記載されている内容が指標に載っていなかった気がします。何か優先順位などがあったのでしょうか、教えてください。
事務局	回答票に記載しているものは個別に行った講習会や事業、イベントの参加者人数になります。施策評価シートに記載はしていませんが、大きなもので言えばロードレース大会の申込者数がそれに類似するものになります。
柳原委員	施策目標の実現に向けた取組の(1)～(4)のどれに該当するか考えていました。
事務局	回答が質問に合致していなかったかもしれません。 —意見記入—

委員長 濱田委員	<p>施策 11 についてご意見等お願いします。</p> <p>昨年、ふじみ野市の子育て支援施策は非常に充実していると思われました。「こどもの未来を育む条例」は全国で初めてと聞いています。メディアに発表されましたか。テレビに出せば、移住者が増えるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>こどもの未来を育む条例では、「体力の向上」を謳いこんで作成したというのが全国で初めてということでもあります。定例記者会見で発表するとともに、シンポジウムなど、プレスリリースを行いました。新聞などでは取り上げていただきましたが、テレビは来ていなかったです。ケーブルテレビ、専門新聞など情報発信できるようにしています。</p>
瀧口委員	<p>放課後児童クラブについてですが、アメリカの公立学校ではいろいろなアクティビティを選べるようになっていて、子どもたちが放課後に学校の校庭などを使用できたら良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>ふじみ野市では放課後児童クラブは指定管理なので民間が入っているということもあり、積極的にいろいろな事業を展開しております。サッカーの指導など専門的なところはまだまだ難しいですが、担当課には意見をあげさせていただきます。ご意見ありがとうございます。</p>
柳原委員	<p>国の補助金は活用されているのでしょうか。最大限活用しているという意味でもふじみ野市は進んでいるという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>活用できるものは活用しています。補助金があるからということではなく、市の方向性、目的に通じる事業を行って、その事業についてどういう補助金があるかという形で考えています。</p> <p>子育て支援については昔からの補助金が定例化しており、新たな獲得は難しいと思います。</p> <p>—意見記入—</p>
委員長 川村委員	<p>施策 12 についてご意見等お願いします。</p> <p>職場（銀行）では、パート職員が多く、行政に対しての要望が多いのでお話しさせていただければと思います。最近ヘルパンギーナやコロナがとても流行っており、病児保育の充実、時間外の受け入れというところで施策を行ってもらえればというお願いになります。</p>
事務局	<p>ファミリーサポートもあるが資格等も必要ないため、熱のあるお子さんについては受け入れられないということです。病児保育については厳しい状況ですが要望が強いということは担当課に伝えておきます。</p>

原田委員	保育士の人数は足りていないのでしょうか。東京では待遇が良いらしい。みんな都内へ行ってしまふから資格を取得したら数年は県内に就職しなくてはいけないなどの条項や要綱を作るとか補助金を考えるようにしたらどうでしょうか。
事務局	直接的に市が保育士資格を取るために支援金などをだしているという状況であればそういったことも可能なのですが、そういったところも含めて考えていかなければならないのでしょうか。 —意見記入— —休憩—
委員長	施策 14 についてご意見等お願いします。
原田委員	自分も検診でがんを早期発見することができました。自ら体験し、検診の有難さが分かったので、周りに話すようにしています。
瀧口委員	検診受診率は企業の分は除いているのでしょうか。
事務局	市として把握できておりません。 —意見記入—
委員長	施策 15 についてご意見等お願いします。 —意見記入—
	施策 16 についてご意見等お願いします。 —意見記入—
	施策 17 についてご意見等お願いします。
柳原委員	活動指標の「認知症サポーター数」「介護予防センター累計登録者数」「ふじみん見守りネット登録事業者数」いずれも 100%を超えており、素晴らしいと思いますが、実際のキャパはどうだったのでしょうか。
事務局	直接の担当課への申込を想定していたのですが、企業や学校に行つて学校学年単位の要請であつたりそういうのも展開しているところを見込んでいなかったためと思われまふ。
柳原委員	最終的にどこまで増やしていきたいのか目標が分かりづらかつたです。後期の計画で意識されると良いと思います。
瀧口委員	19 ページの指標、3 つとも 100%以上の実績が続いており、このデータだけ見ていると、努力しないで達成できるように設定されていると見られがちという恐れもあると思います。7 年後にどうあるべきなのかというところからスタートして、分かりやすい良い目標を立てていただいた方が見え方としても良いと思いました。
事務局	今回記載させていただいている目標値は将来構想の進捗を管理するところで、目標値をクリアしていてもそれ以上の目標値を今回設定しないという形で統一させていただいております。こちらは施策の評価を皆様にしていただくということで、昨年度施策評価シートと

	<p>事務事業評価シートがあったかと思うのですが、事務事業の方では毎年の進捗具合を見ながら目標をクリアしていればより高い目標をという形で設定をしていたりします。そういった兼ね合いから後期の基本計画で、継続して指標を使わせていただく場合には、令和4年度までの流れをみながら、後期はさらに上乘せして行政としては頑張らせていただきますということで数字を設定させていただいてます。</p>
原田委員	<p>民生委員との関わりが出てこない。行政との関わりも深いのだから民生委員の役割も載せてほしい。</p>
事務局	<p>民生委員の方と行政、密接な関係を持って仕事をしていると思います。記載、入れ込むよう検討していきたいと思います。</p> <p>—意見記入—</p>
委員長	<p>施策22についてご意見等お願いします</p>
原田委員	<p>管内の農業はたくさんあるのだろうが、見えずらい。データをもっとあげたらどうでしょうか。管内で生産される野菜は市場流通にのせる農業者と管内にある直売所にある生産者と2つに分かれている。現実的に相当な金額のものを生産しているはず。金額を明記していった方が良いと思います。また、農業塾を行っても新規就農者を増やしていかないといけないし、今までとは違う農業振興をお願いしたい。</p>
事務局	<p>「ふじみ野市の農業」という冊子は作成しています。学校教材として使われていますが市民の目に届くように考えていきたい。農業塾についてはすぐに生産農家になる訳ではなくいろいろハードルがあると伺っている。農業塾生がしっかり生産者としてできることが目標とできるか担当課に伝えます。</p>
柳原委員	<p>SDGsの観点からもあるのかなと思います。例えば地産地消で地方から運ばずに済み、輸送トラックのCO2の排出も減るなど、規模は小さくても意識して取り組んでいるという情報発信も含めると良いのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>21ページ関連課に学校給食課も入っていますね。そういった部分でも地産地消のデータあると良いですね。</p>
原田委員	<p>環境問題も取組の中に入れておいた方が良いでしょう。ビニールハウスのビニールなど、桁違いの量を使用しています。</p>
事務局	<p>学校給食についても、記載を入れていくようにしたいと思います。</p> <p>—意見記入—</p>
原田委員	<p>施策23についてご意見等お願いします。</p> <p>新産業団地について土地の固定資産税が5億は入るらしい。雇用で事業税も入ってくる。将来的には下支えの税収の元になる訳です。</p>

事務局	試算はしています。確かに5億の税金が入りますが、交付税との関係もあり、実際には1億ちょっとくらいの収入増を見込んでいます。
原田委員	今一番重要なのは雨が降った時にどうするのかということです。このまま水田で米を作っていて良いのかと疑問に思います。水田を違う形に転換するとか、転換したら水田が貯められる水量の3倍から4倍の遊水池を作ってもらいたいです。将来的な行政の地域農業振興計画も変えていかななくてはいけない時代が来ていると思います。
事務局	農地が産業団地になり市の税収としては非常に良いと思います。開発企業と話し、調整池も設けられたので効果は大きいと思います。ただ農地の転用については基本的には、国、県との問題もあり、すぐに市の施策展開するという事は難しいです。ただ変えてはいかなければと思いますので、長い目で見ていただけたらと思います。
	—意見記入—
委員長	以上で議題（1）について終わります。ありがとうございました。続きまして、次の議題に移ります。議題（2）その他について何かありますか。特にないようでしたら、事務局から何かありますか。
事務局	事務連絡
委員長	ただいま事務局から説明があった中で、ご意見・ご質問等ありますか。なければ、本日の議題はすべて終了しましたので、議事の進行を事務局にお返ししたいと思います。
事務局	木村委員長ありがとうございました。また、皆様におかれましても、本日はお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございました。次回につきましては前期重点プロジェクトの残り11施策について、ご意見をいただくこととなりますのでよろしく願いいたします。それでは、令和5年度第2回ふじみ野市行政評価外部委員会を終了します。お疲れさまでした。
	以上